

科目名	学年	規定時間数	担当する教員の实務経験	授業内容
身体障害作業療法評価学	1	30	作業療法士として授業内容にかかわる実務に5年以上の経験を有する	作業療法は、人間関係と環境的な構成要素を含む目的活動を機能障害の解決および予防の手段として利用し、最大限の適応状態を引き出すことを目標にしています。作業療法における評価とは目的活動を選択するために全ての処置に先行して実施されるもので、作業療法実施上不可欠なものとしてされています。この授業では、各種評価方法の基礎技法・各種評価方法によって得られたデータの解釈等を学びます。
身体障害作業療法評価演習Ⅰ	1	30	作業療法士として授業内容にかかわる実務に5年以上の経験を有する	作業療法は、人間関係と環境的な構成要素を含む目的活動を機能障害の解決および予防の手段として利用し、最大限の適応状態を引き出すことを目標にしています。作業療法における評価とは、目的活動を選択するために全ての処置に先行して実施されるもので、作業療法実施上不可欠なものとしてされています。この授業では、そのための各種評価方法の基礎技法の正確な実施方法を学びます。
老年期障害作業療法評価学	1	30	作業療法士として授業内容にかかわる実務に5年以上の経験を有する	日本の高齢化は急速に進み、高齢者を対象とした作業療法への期待は非常に高まっています。超高齢社会へ急速に移行していく中で、作業療法の需要は増え続けています。高齢者は、加齢・老化とともに心身の機能が低下していきます。加えて、複数の疾患を合併していることも多く、その治療には多種多様な知識と技術を必要とします。この授業では高齢者の身体機能や認知機能の理解とその作業療法実践に必要な評価法を学習します。
身体障害作業療法評価演習Ⅱ	2	30	作業療法士として授業内容にかかわる実務に5年以上の経験を有する	作業療法は、人間関係と環境的な構成要素を含む目的活動を機能障害の解決および予防の手段として利用し、最大限の適応状態を引き出すことを目標にしています。作業療法における評価とは、目的活動を選択するために全ての処置に先行して実施されるもので、作業療法実施上不可欠なものとしてされています。この授業では、そのための各種評価方法の基礎技法の正確な実施方法を学びます。
身体障害作業療法演習	2	30	作業療法士として授業内容にかかわる実務に5年以上の経験を有する	身体障害領域の作業療法で代表的な疾患の評価・治療の実際を通し、身体障害領域に必要な作業療法治療の知識・技術の習得を目指していきます。その中では、臨床の場で実際どのような状況が想定され、どのように対応していくのか、より実践的な知識・技術の習得も目指していきます。
精神障害作業療法学	2	30	作業療法士として授業内容にかかわる実務に5年以上の経験を有する	精神障害の病態と心理状態を理解し、援助していくための作業療法の知識を学びます。精神障害に対して、臨床での作業療法が実施できるようになるために、精神障害者とのコミュニケーションのとり方や面接法、基本的な態度など作業療法の評価技術と評価を理解し、治療・援助の方法を習得します。
老年期障害作業療法学	2	30	作業療法士として授業内容にかかわる実務に5年以上の経験を有する	日本の超高齢社会により、高齢者の重複障がいに対応できる作業療法士が求められています。高齢者に代表的な認知症を中心としたその評価・介入・援助について学びましょう。また高齢者や障がい者などを含めた終末期医療のあり方・作業療法の視点についても本授業では取り扱います。人が死にゆく過程と医療のみならず人間的な対応についても学びましょう。
高次脳機能障害作業療法学	2	30	作業療法士として授業内容にかかわる実務に5年以上の経験を有する	高次脳機能障害は全般的に捉えにくい難しさをもった障害です。この授業では、このような特徴をもつ高次脳機能障害について脳の全般的なはたらきと結びつけながら、一つの知識を整理し、その理解を深めていきます。臨床で作業療法士が関わる多くの症候学的な問題と検査法、治療法について理解を深められるよう広く学習していきます。
装具関連作業療法演習	2	30	作業療法士として授業内容にかかわる実務に5年以上の経験を有する	義肢の歴史、分類、切断、仮義手の製作・訓練、装具の役割、分類、機能、上肢装具、治療訓練、適応疾患について学び、実際にスプリントの製作を行います。また義手・スプリント・車椅子のチェックアウトを実施します。
生活環境学	2	30	作業療法士として授業内容にかかわる実務に5年以上の経験を有する	人間は自身の機能や能力などの内部環境と、人的・物理的・文化・自然などの周囲環境から与えられる外部環境との相互関係の中で活動しています。生活環境学とは、対象者を取り巻く環境、つまり外部環境について考察する授業になります。本授業では、生活環境について疾患別の住環境整備や福祉用具の選択を適切に選択できることを目標とします。
	計	300		